

おおくら 議会だより



早春の男滝・女滝 (滝ノ沢)

もくじ

3月定例会	2~4P
一般質問	5~12P
視察・要望	13P
議会報告会開催	14~15P
そうだったの！村議会	16P



発行／
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集／議会広報調査特別委員会 年4回発行
印刷／共栄印刷株式会社

3月定例会

議案の審議

今回審議された主な議案は

- ・農地等災害復旧事業分担金徴収条例の設定（地方自治法の規定により設定するもの）
- ・看護師育成修学資金貸与条例の設定（最上地域が連携し看護師育成を支援。返還免除規定有り）
- ・団地造成事業特別会計の条例設置（子育て支援を目的に団地造成、分譲を行うもの）
- ・村営バスの設置及び管理に関する条例設定（4月から運行）
- ・村税条例、個人情報保護条例、勤務時間・給与条例等の改正（国の法改正に伴うもの）
- ・介護保険条例の一部改正（現行の保険料軽減を継続するため）
- ・平成28年度補正予算7議案
- ・平成29年度予算9議案

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

- ◆固定資産評価審査委員
国分 亨氏（通り）再任
- ◆固定資産評価審査委員
中島 信一氏（沼の台）再任



請願の審議

★「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

◎請願者

農民運動山形県連合会

会長 小林 茂樹

◎審査結果

現政権下での「経営所得安定対策の継続と交付額の拡充」を求めるべきで、過去の制度復活復活は非現実的との意見のため、不採択と決した。



平成29年度当初予算 総額 57億2000万円 を可決

一般会計 39億7000万円
特別会計総額 17億5000万円

①国民健康保険会計……	5億4200万円	⑤介護保険会計………	3億9700万円
②簡易水道会計………	2億9700万円	⑥浄化槽会計………	2970万円
③下水道会計………	1億7600万円	⑦後期高齢者医療会計……	3550万円
④診療所会計………	2億3900万円	⑧団地造成事業会計………	3460万円

新年度の主な事業

◆村営バス運行事業………	6000万円
◆銅山川水力発電………	4000万円
◆農産物加工場建設………	2億2000万円
◆基盤整備事業負担（4地区）………	3000万円
◆道路改良事業………	3億2000万円
◆肘折生涯学習センター耐震工事………	5200万円

補正予算 平成28年度補正予算7会計を審議・可決

	補正額	総 額	主な補正内容
① 一 般 会 計	▼1億5000万円	40億5900万円	事業の精算
② 国民健康保険会計	310万円	5億5100万円	交付金の増
③ 簡 易 水 道 会 計	▼420万円	1億8900万円	事業の精算
④ 下 水 道 会 計	▼270万円	1億5700万円	管理費の減
⑤ 診 療 所 会 計	▼1200万円	2億1900万円	管理費の減
⑥ 介 護 保 険 会 計	850万円	4億4600万円	保険給付費の増
⑦ 後期高齢者医療会計	160万円	3380万円	保険料の増

予算審査特別委員会

一般会計

歳入

39億7,000万円

問 国庫補助金の中で、社会資本整備総合交付金が昨年2億から半額になった要因は？

答 補助金は村で国へ要望するもの。例年は約1億円程度。

問 いでゆ館で多様なイベントを行い、来客数が増えているにも係わらず、入湯税の見込みが減少しているが？

答 予算編成にイベント収入は入らない。あくまで前年度の実績を基準に編成する。今年度は70,000人を予定している。

問 臨時福祉事業補助金の金額と対象者は何人か？

答 対象者は719名で、1名当たり15,000円を予定。

歳出

問 ふるさと納税の収入を1,200万円としているが、経費に1,000万円？

答 納税の謝礼品経費は約半分、大部分は大蔵産。その他に様々な経費がかかり、村の利益は余りないが、生産者の利益に繋がる。

問 水力発電アドバイザーとは何か？

答 発電事業に詳しい人に依頼し、発電計画や事業認可等のアドバイスを受けている。

問 地域活性化推進事業費補助金が昨年より3倍になった理由は？

答 大きく変わったのは、昨年の台風被害による平林公民館の建設費用。

問 村営バスの運行に付き、そのセレモニーや愛称の募集はあるのか？

答 4月1日に肘折始発のバスで出発式を行う。愛称はインターネット等で募集したい。

問 うど山斎場の負担金が倍になっているが、特別な工事等があるのか？

答 火葬金のセラミック板の張替えや、台車の取替え。

問 トップランナー育成プロジェクト事業補助金の減額は何か？

答 毎年農家や生産団体からの要望を積み上げた額。

問 湯の台スキー場の庄雪車の更新は国産車を優先すべきでは？

答 現在国内で使用している機種を比較検討している。購入後のメンテナンス等も考慮して機種を決定したい。

★一般会計予算案に反対意見（小水力発電事業）があり、反対・賛成の討論を経て採決の結果反対2・賛成7で原案通り可決成立。

反対討論 佐藤 雅之 議員
現在進めている事業内容の詳細な説明がなされておらず、また、事業採算性の観点でも大いに疑問だ。

賛成討論 矢口 智 議員
地球環境への配慮、学習型観光の推進、自主財源確保等、村の活性化に結び付く。

反対 佐藤雅之・早坂民奈
賛成 鈴木君徳・中島幸夫・

加藤忠己・海藤邦夫・長南正一・佐藤 勝・矢口 智
（八鍬信一議員は委員長のため採決に加わらない）



特別会計

「国保会計」

問 現在7回に分けて納税しているが、回数を増やす事は出来ないのか？

答 直ぐに回答は出来ないが、今後の事は検討する。

「簡易水道会計」

問 旅館の使用料金の区分は？

答 料金は家屋・営業・臨時に分かれるが、旅館の場合は使用量によって区分される。

「へき地診療所会計」

問 電子カルテシステムになったのの効果は？

答 診療と会計までの流れが速く、待ち時間が少なくなった。

「介護保険会計」

問 介護サービス、リンクの改定で入所できない人が増え居宅介護が多くなるのでは？

答 全国的に施設型介護になり、重度患者が居宅から施設に入所する割合が増えている。

問 ふれあいサロンの運営で、現在加入している団体はいくつか、また、補助額は？

答 登録しているのは5団体で、1団体に30,000円を補助している。来年度は8団体に増やしたい。

「国地造成会計」

問 造成計画の予定場所は？

答 合海子育て支援住宅周辺。

一般

質

問

ここが知りたい

村政を問う

一般質問
3月
定例議会

一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をただしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

(研修状況)



7議員が一般質問



6P

長南 正一 議員

○集落間の街路灯を村の管理で維持・継続を！

8P

佐藤 勝 議員

○台風被害の復旧計画は？
○村の除雪要綱と現場に認識の違いがあるのでは？

10P

佐藤 雅之 議員

○観光行政に複眼的視点を！

12P

海藤 邦夫 議員

○地産地消の現状と課題について

7P

加藤 忠己 議員

○村は除雪作業にかかる参考単価を示せ
○大蔵村営バスの設置及び管理に関する条例について

9P

早坂 民奈 議員

○運転免許証返納者と交通弱者の足確保は？

11P

中島 幸夫 議員

○平林集落の消防ポンプ庫と公民館の建設について



長南 正一 議員

村管理で、集落間の街路灯の維持・管理を！

村長 LED化は村で 料金は検討

問1 四ヶ村地区では街路灯（防犯灯）の維持が老朽化や多額の電気料の支払い等によって地元負担が多く、やむなく撤去せざるを得ない現状にある。

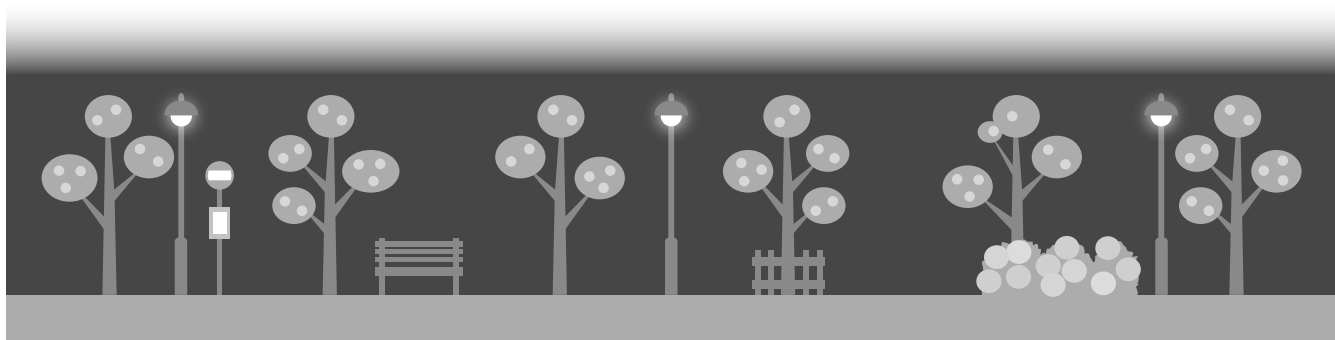
答1 集落間に村が設置した街路灯については、村が電気料金と維持補修にかかる経費を支出している。防犯灯や地区が自主的に設置した街路灯については、各地区で電気料金と修繕費の支払など維持管理を行っていただいているのが現状。街路灯の老朽化や電気料金の支払いが困難等の理由により、やむなく撤去せざるを得ない事例について、平成27年度より地区公民館

などの維持費の一助として地域活性化事業を設けた。しかし、老朽化により街路灯の修繕が予想以上に経費がかさみ、電気料金とともに各地区の重荷になっていると推察する。

各地区の修繕料と電気料金の負担軽減を図るため、平成26年に防犯灯等の設置調査を行い、LED化に向けて検討したが、国の助成基準などにより、実施できなかった。しかしLED化は必要。村単独で順次全地区を対象にLED化を進め、地区の防犯対策や負担の軽減を図りたい。

問2 どのくらいの期間で実施するのか。また集落内の街路灯の更新も含めて村がおこなうということか。

答2 平成29年度中に調査をし、平成30年度から2、3年かけて整備する。集落内の街路灯も機械器具の設置、取り外しは村の財政ですべておこなうが、集落内の街路灯についての維持管理は地区でおこなってもらいたい。



加藤 忠己 議員

「除雪作業」の受委託参考単価を示せ

村長 表示が適当か検討

問 除雪について「屋根だけ」「玄関前だけ」「駐車場だけ」といった間口除雪や軒下除雪など、短時間除雪作業の需要が増えている。今後高齢者の需要も増えてくる。当事者が気持ちよく作業を委託・受託するためにも作業にかかる1時間当たりの参考単価を村が示すべきではないか。

答 村で使用している土木関係設計単価や積算基準などを参考に、あるいは除雪業者から見積をとるなどの方法により、除雪作業員や重機の使用料の参考単価を示すことは可能。他方、その参考単価が受委託両者にとって、合意形成につながるのかという問題もある。高齢者世帯などの負担と一般世帯の負担とでは負担の重



民家の除雪

さも違う。

また、住宅の立地や地域により雪量の違いなど条件がまちまちであるのも事実。更に、連日降雪が続く、一斉に除雪作業委託への需要が高まると必然的に除雪単価も高騰するという話も聞く。

そう考えると除雪参考単価を示すことは可能だが、ただの「参考」ではトラブルの要因になるのではないかと。一般的な基準としての表示が適当であるか今後検討したい。

条例改正前にチラシの全戸配布順序が後先逆では？

村長 問い合わせが相次いだため

問 「大蔵村営バス設置及び管理に関する条例」が今議会に上程されているが、

本来、村議会の改正の議決を得てから村民に情報を全戸配布すべきものはず。しかし、先日そのチラシが全戸配布となった。後先が逆ではないか。

【その他の質問】

① 運賃や運行本数の根拠は？
② 高齢者や幼児等の割引率についての関係審議会からの意見の有無は？
③ 定期券の割引率について
④ 山交バス廃止後のビジョンは？

答 全くそのとおり。しかし、村民をはじめ新庄市民からバスの運行時間や料金などの運行形態についての問い合わせが相次いだのに加え、肘折温泉への観光客や旅館などからの問い合わせも多くなったことから、議会全員協議会で担当課長に説明をさせ、議員皆様からご了承をいただいた。本定例会に条例議案を提案しているので理解願いたい。





佐藤

勝 議員

台風被害の復旧計画は？

村長 29年度中にすべて復旧

問 昨年の台風による大雨は、ダムの決壊・公共施設や農地の崩壊など、村内に大きな被害をもたらした。自然災害への対策や復旧に向けた努力を最大限に行わなければならない。平成29年度予算も編成されたが災害復旧の計画と予算の詳細は？

答 村道・河川は、国道県道の重要な路線や、農地に土砂が流出している路線等8箇所について、28年度において工事を進めている。雪崩の危険性がある箇所に

ついては、雪解けを待って発注する予定で、早期復旧にむけて取り組む。

29年度当初予算に村道赤松滝の沢線等道路災害を11箇所、大石沢川等河川災害3箇所を災害復旧事業費として、6千5百万円を計上。災害復旧事業については、住民生活の影響を考慮し、28年に発生した災害



災害のツメ跡

については、29年度中に全て復旧工事を完成する予定。今回の台風被害は、激甚災害の指定を受け、国の助成を受けている。村の単独事業として農家から申請のあった小災害箇所については、小災害復旧事業として補助金を活用し、復旧事業が完了した。その他、ため池や林道の災害復旧工事についても工事を進めている。

問 村では、屋根から道路への落雪は除雪しないとなっているが、実際の除雪の現場では無理なこと。道路に面している家は多く、その雪を除雪しなければ次の道路の除雪ができない。屋根に雪止めを設置してもその雪を誰が落とし、排雪するのか？

答 屋根から道路へ落雪したものについては、原則として除雪はしない。家屋の所有者から排雪してもらう。落雪により車の往来ができない場合については、やむを得ず車1台分が通行できるスペースを除雪しているのが現状。村では屋根に雪崩止めを設置するようお願いしている。屋根に積もった雪は当然、その家屋の持ち主が行うもの。有償によ



出発前の点検

除排雪の基準、現場で困惑

村長 知恵を出し合って克服

る除雪ボランティアや地域住民共助による除排雪作業等の支援について、検討していく必要がある。村民と知恵を出し合って克服し、雪に強い村づくりを進めたい。



早坂

民奈 議員

免許返納者と交通弱者の足確保は？

村長 総合的公共交通の確保に努める

問1 高齢者の免許返納の動きはあるようだが、当村では返納後の移動手段を考えると難しい。一昨年12月「交通弱者の足確保」について質問後の進捗状況はどうなっているか。

村営バス運行に伴い、料金も大幅に安くなり、利用しやすいはなっているが足の悪い方等はタクシーを望む声も聞かれる。これらの事を踏まえ、3点伺いたい。

(1) 一昨年答弁後の進捗状況

(2) 免許返納者のための福祉サービス等のメリットは

(3) 交通弱者にタクシーチケットの助成

答1 高齢者の安全と利便性の確保に向け、運転免許証自主返納事業をスタートする。

(1)について、福祉バス、デマンドバスも検討したが、山交バス廃止につき、乗り合い定期バスとして、村営で運行する。

(2)について、70歳以上対

象に、①2万円相当のバス回数券 ②2万円相当のスタンプ会商品券 ③各1万円の回数券、商品券の3点から1つ選択。

(3)について、現在、村では身体障がい者の方に初乗り料金24回分を助成してい

るが、地域性やタクシー会社の供給体制など問題もあり、すぐ実行できない。

村内の高齢化の動向や社会状況を見ながら、村営バスやスクールバスの有効利用を図り、総合的な公共交通の確保に努める。



村営バス



問2 高齢者世帯や一人暮らしが増えている当村では移動のための足確保は、今後の重大課題ではないか。他町村では、タクシーチケットを発行している所も多く、それなりに工夫もしている。良いところは参考にしても良いのではないか。

答2 デマンドタクシーは予約や、人数などに制約があり、検討の結果、村営バス運行になった。将来的に村営バスの集落周回やバス停以外から自由に乗降できるように計画をしたい。



佐藤 雅之 議員

統計データを駆使した複眼的 観光行政を

村長 観光客数の減少要因を早
急に明らかに

- 問** ①村長は、観光行政の課題を「地域の合意形成」というが、後継者の有無や旅館等の施設規模の違い、狙う顧客層の違い、価格帯の違いなど「特性」の違いを無視した一律な「合意形成」には無理がある。実情に応じた「住み分け」を目指すべきではないか。
- ②旅館や商店など、各事業組織の長を通じての公式な要望等の集約に留まらず、組織構成員の「本音」や「悩み」など、非公式な場での「現場の声」の収集にも行政は努力すべきではないか。
- ③統計データの分析もおこない経営者等への情報提供や外国人受け入れ（インバウンド）後も見据えた観光事業の「もう一つの核」を作るべきではないか。
- ④観光関連業の経営判断に資する情報提供を行い、

行政も親身な経営支援を商工会と共に行うべきではないか。

答 国内の観光客数については、全国的にも、全国的にも減少しているが、肘折温泉の減少要因について早急に明らかにしなければならぬ。

①「合意形成」について個々の旅館の経営状況は、経営規模によりそれぞれであり状況が違うものを

「合意形成、全員参加」

は困難であることは理解するが、状況は違っても出来る限りの合意形成と全員参加をお願いする。

②非公式な場での情報収集や情報共有は、「小さな村であることの利点」を最大限生かし、商工会とも連携を密にして情報共有を図っているし、村政座談会においても、観光産業に対するご意見ご要

望を受けている。

③インバウンド後の事業について、現在、インバウンドを受け入れられる旅館は5〜6軒。減少した観光客をインバウンドで補おうとの考えではなく、観光客数復活の「きっかけ」にしてほしいとの考え。地域資源を活用したお土産品開発や体験プログラムの見直しは重要な課題。近い将来、保養温泉地が脚光を浴びる時が必ず来ると考え、休養・保養・療養の「温泉三養」を主体とした温泉地づくりを今後の核として推進する。

④「縦割りの弊害」等については、村長として、職員に最も意を配し業務を遂行するよう示している。とりわけ観光事業については、「支援型」を超え、職員が先頭に立って事業を進めていると理解している。



さんげさんげ



中島 幸夫 議員

平林集落の消防ポンプ庫と公 民館の建設は

村長 ポンプ庫を併設した一体
型施設を

問1 昨年8月の台風7号9号10号により、村内でも赤松川流域の被害は大きく、道路の決壊や圃場には瓦礫の置き上げ、ハウスの冠水など甚大な被害を受けた。特に平林集落の消防ポンプ庫が流出し、同じ敷地の公民館も一部損壊され、使用できなくなった。今、集落では大変不自由になっている。早急に対応すべきであるが、現在の進捗状況を伺いたい。

答1 台風被害により、赤松川上流域では、護岸決壊による消防ポンプ庫の流出、消防用ホース・乾燥ボールの倒壊、さらに地区公民館の基礎部分の被災で危険な状態となった。下流の赤松地区は農地の流出、ハウスへの土砂流入等の被害があったが、幸いにも人的被害がなく安堵している。平林地区消防ポンプ庫と公民館は解体撤去しており、来年度、地域活性化推進事業費

補助金を活用し、公民館とポンプ庫を併設した一体型施設として、移転新築する。消防用ホース乾燥ボールと防災無線放送塔は村予算で再設置する。他の被災箇所も29年度において復旧事業を完成させる。

問2 移転新築するにあたり地区の負担はあるのか。

答2 土地の造成は地区で負担。

問3 造成用地に付随する道路の法面を平らにし、旧道の残地を駐車場として無償使用出来ないか。

答3 出来る方向で考えて行く。



台風被害を受けた平林地区



海藤 邦夫 議員

地産地消の現状と課題とその推進策

村長 地産地消は定着

問1 村内の農産物は大半、都市部へ出荷されている。

地産地消が叫ばれているが、村内に流通していないのが現状だ。学校給食、肘折温泉の旅館で地元の米、野菜など地産地消できないか。給食に「つや姫」を取り入れ、食育に役立てては。

又、郡内唯一の酒造会社もあり、日本酒の消費が減少している中、吟醸酒などの高級酒は伸びている。他の市町村でも制定している乾杯条例を村でも設けてはどうか。

答1 地産地消の定義として、地域の農産物を、その地域で消化する事を意味している。手軽に手に入れる場所として朝市、湯の台直売所等がある。旅館や多くの地区民が買い求め、地元野菜、旬の野菜、きのこ等、地産地消が定着している。

しかし、地域経済の活性化、地域への愛着に繋がる物の、需要と供給のバランスが合わなかったりしている。肘折温泉郷の食材供給の推進は、トマトや低アミロース米「里のゆき」の試食説明

会を開催。近年では「やまがた地鶏販路拡大事業」を実施しているが、観光客数の減少で、思うように拡大できていない。

学校給食は夏季にトマト、ピーマンを提供、食材に関心を持って食べてもらうよう今後検討していく。

問2 地元のトマト、ピーマンだけでなく、その他の野菜のおいしさを子ども達に感じてほしい。また、学校給食に週2回ぐらいの割合で「つや姫」を提供できないか。

答2 地元の野菜が美味しいのは実感している。「つや姫」は80俵食している。

問3 ふるさと納税の中にトマトや地鶏はいっているか。

答3 納税の返礼品の中には入っていない。29年度に検討する。



大蔵村特産加工組合「ふれあい市」(湯の台)



視察・要望

議会運営委員会

2月6日から7日にかけて「道路整備財源の確保、国道458号線、戸沢大蔵線、東北中央道建設、新庄酒田線」の整備、併せて農業競争力基盤整備の促進を、本県選出国會議員3名に要望を行った。特に、本村に最も重要な458号線については、白須賀から上竹野までの第3工区及び熊高工区の事業促進を強く要望した。

その後、衆議院予算委員会を傍聴し、会議の運営状況や発言、



答弁の手順等を直接見て勉強することができ、大変参考となった。議事運営に大いに活かしていきたいと考えている。

総務文教常任委員会

11月17日に小学校・中学校・翠明荘を訪ねた。

小学校では、教育目標に「命輝く健やかな子供の育成」を掲げ、「生きる知恵と勇氣」を引き出し、小・中はもとより、保育所との連携も構築していた。中学校では、「心の育成」や「集団生活のルール」など、道徳性の育成整備を図っており、良好な対人関係に対する努力が見られた。また、非常時の対応では、教育委員会や保護者とのきめ細

やかな連絡体制がなされていた。翠明荘では、個々のプランに基き、日常生活の介護や健康管理を行い、自立した生活を目標に支援を行っており、安心できる介護が行われていると感じた。



産業建設常任委員会

1月31日冬期間の村内道路状況を調査した。

村内を隈なく巡回したが、幹線道については、除雪が行き届いており、日常生活に支障をきたす様な危険箇所は見られなかったが、一部山間地に表層雪崩や雪庇があり、通行上危険と判断される事から、雪尻の除去や危険箇所の見回りが必要と感じた。

また、白須賀・赤松地区の消雪施設の老朽化やパイプの詰ま



り等で、機能していない箇所もある。県に改善の要望を行う必要がある。

大坪地区に設置された暴風雪柵の効果は大であり、残りの早期対応が望まれる。

豪雪地帯である本村では、地域住民の理解や協力と除雪に係る担当者の頑張り、期待したい。

議会広報調査特別委員会

11月21日から22日かけて県内の5町議会事務局を訪ね、議会広報編集への取組状況、定例会の周知、運営状況について研修を行った。

特に一般質問の取りまとめ、住民の関心を高める特集記事などに各町共熱心に取り組んでいる内容を伺い大変参考になった。定例会の周知については、全戸配布、回覧、公共施設へのポスター掲示等を行っていて、村でも住民に紙面できちんと周知

すべきと強く感じた。議会報の編集は「簡単明瞭、分かりやすい記事内容で議会を理解して頂ける」ことが最も大事。今後さらに努力を重ねていきたい。



様々な意見や

要望が



出された意見(質問)

村事業について

回答、() は村の回答

小水力発電事業の進捗状況。	県へ申請中。31年3月より稼働予定。
農産物加工場についての詳しい計画や情報。	三和食品へ貸工場として協定締結。 30年5月操業予定(29年6月~本体工事へ)
山交バスの廃止に伴う村営バスの運営。 高齢者への配慮を。	現行料金より大幅に安く設定。 (便利な定期券発行も)
子育て支援住宅からの行き先が無い。 定住促進に力を。	住宅分譲地の造成を計画。 (29年度用地取得~31年度売出予定)
高齢者の自動車事故多い。免許返納後の助成は。	3月定例会で一般質問予定。(支援を予算化)
農業後継者育成は急務。(先のことをしっかり考えて)	深刻な問題と認識。(農産物加工場の活用も一考)
村の過疎問題深刻、婚活支援は?	8市町村で事業展開。村でも仲人隊配置。 今後の成果を期待。
防犯灯のLED化事業はまだか。	H26に事業計画?確認する(29年度に計画)
いでゆ館運営、営業課題を精査し 収入を上げる努力を。	運営会社に伝え努力を促す。 議会でも検討します。
役場庁舎の耐震不足が公表された。	一般質問で数回議論に。 29年度に検討会立ち上げと答弁。
給食費無料化を寒河江市で計画。村でも考えては。	議会でも検討していきます。

出された意見(質問)

広域・県の事業

看護師不足が深刻。 看護師養成機関の設立を進めてほしい。	新庄市が中心になり計画を進める 予定。
県立新庄病院改築目通しは。	※H29より用地取得の報道。

出された意見(質問)

要望

国道458号湯の台地内の 防風雪柵設置、S時カーブの改修を。	村担当課に確認~県へ要望。
国道458号上竹野の急坂危険、温度表示版の設置を。	県に要望。
翠明荘から改良後の国道458号までの村道拡幅を。	村担当課と協議。
本合海の鶏舎建設に反対(大坪地区)。 議会でも同調してほしい。	全員協議会でも反対を確認。 各方面に協力を求める。

出された意見(質問)

議会に対して

人口減少に伴い、議員定数・報酬等 の見直しが必要では。	議員のなり手がなく無競争の町村も。 検討します。
定例会(一般質問)の内容を事前に知らせてほしい。	以前行ったことあるが、継続実施の方向で調整。
質問方法に疑問。(具体的内容が欠けている。理解を得られる努力を)	検討、努力します。

冬期間の開催にもかかわらず
参加して下さった方々に感謝申し上げます。
頂きました数々のご意見を村づくりに活かしていきます。



赤松地区での開催状況

そうだったの！ 村議会

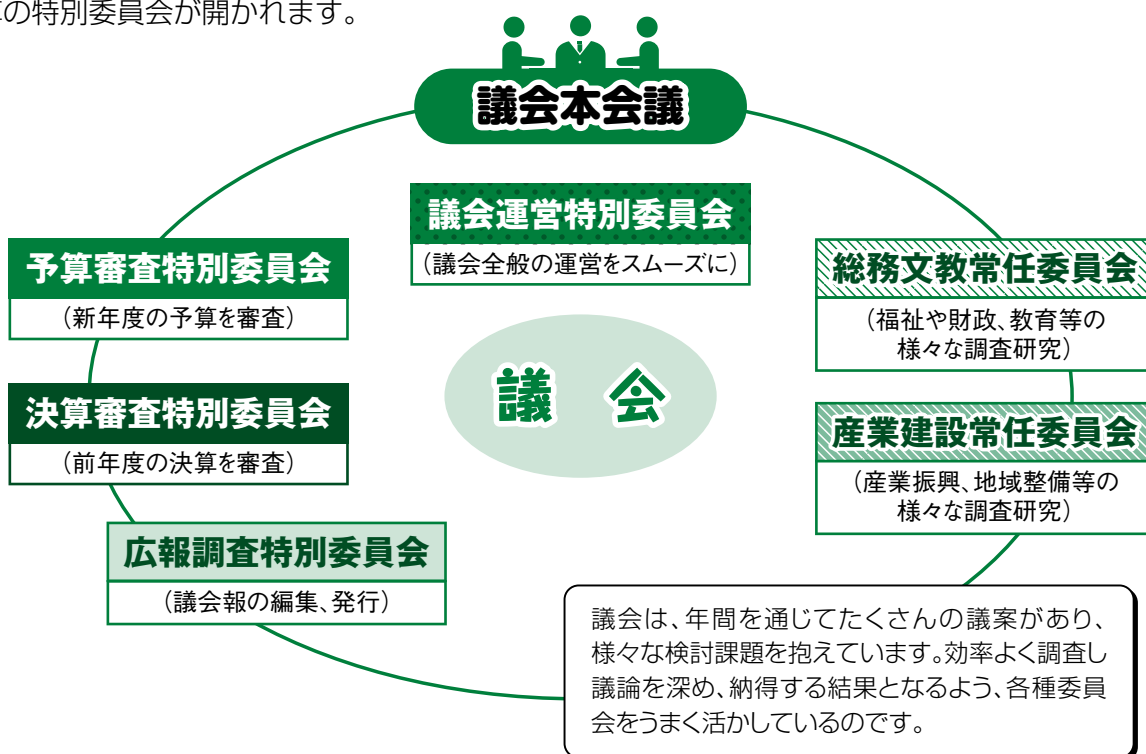
村議会の紹介コーナー

No. 7

今回も、 『議員の仕事』

委員会制度って？

国会中継などをご覧の方はご存知の方も多いと思いますが、村議会にも様々な委員会があります。すべての議事を本会議だけで議論をしても冷静に対応できないので、項目ごとに分けて詳しく調査を行い、話し合い、慎重に判断を下す、ということになります。「常任～」は年間を通じて、「特別～」はその議事の時に。3月は予算の特別委員会が、9月には決算の特別委員会が開かれます。



後書き

想う事・考えている事・良い事・辛い事それら全部を文字に変えてみよう。変えたらそれを言葉で表現しよう。人間にも自然にも植物にも動物にも。

例えば、頑張っている人には「あまり無理するなよ」小さな子供には「元気に楽しく遊べよ」懸命に咲いている花には「必ず誰かが見ているからな」大きな木には「よくそこまで頑張ったな」作業を終えた農機具には「明日また頼むぞ」走り回っている獣には「自分の身は自分で守れ」とか。

何でも良い、目に付いた物には自分の思いを言葉にして相手に伝えよう。言葉で相手に思いを伝える事が出来るのは人間の特権である。その特権を無駄にするのは勿体ない事。とは言え何もかもそう旨くはいかない事もある。

しかし、それを考える事が出来るのも人間の特権だと思ってはどうだろうか。

(佐藤 勝 記)



議会広報調査 特別委員会

委員長	佐藤 雅之
委員	早坂 民奈
委員長	佐藤 勝智
委員	矢口 智